



2024年度 第2四半期(中間期)
決算説明資料

 三菱ガス化学株式会社

2024年11月8日

証券コード

4182

 三菱ガス化学株式会社



1 | 2024年度 第2四半期(中間期) 決算概要

2 | 2024年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

はじめに「2024年度 第2四半期 決算概要」
次に「2024年度 通期業績予想」
続いて「セグメント別 業績概要」という順でご説明いたします。

1 | 2024年度 第2四半期(中間期) 決算概要

2 | 2024年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

まず、2024年度 第2四半期業績についてご説明いたします。

2024年度 第2四半期決算 業績サマリー



売上高:メタノール市況上昇、光学樹脂ポリマーや電子材料等の販売数量増、円安等が増収要因も、JSP の持分法適用会社化により減収
営業利益: JSPの持分法適用会社化等が減益要因となるも、機能化学品事業の損益が全般的に前年同期を上回り増益
経常利益:メタノール市況の上昇等により持分法損益が改善したことなどから増益
中間純利益:三菱エンジニアリングプラスチックス(MEP)の連結化に伴う段階取得差益の剥落(約▲150億円)等により減益

単位:億円	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	増 減		2024年度 2Q累計 前回予想*
			金額	%	
売上高	3,996	3,881	▲115	▲2.9	3,900
営業利益	221	337	+116	+52.7	280
持分法利益	▲10	59	+69	-	57
経常利益	249	374	+124	+50.1	330
親会社株主に帰属する中間純利益	312	247	▲65	▲20.8	230
					* 2024年8月7日公表
一株当たり中間純利益(円/株)	152.67	123.47			114.86
為替レート(JPY/USD)	141	153			

(注) 本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示・一株当たり指標・業績前提は単位未満四捨五入で表記しております。

4ページ、2024年度第2四半期の業績サマリーを示しております。

売上高は、メタノール市況の上昇や、光学樹脂ポリマー・電子材料等の販売数量の増加、ならびに円安などが増収要因となりましたが、JSP の持分法適用会社化による影響が大きく、全体では減収となりました。

営業利益は、 JSPの持分法適用会社化は減益要因となりましたが、機能化学品事業の損益が全般的に前年同期を上回ったことなどから、増益となりました。

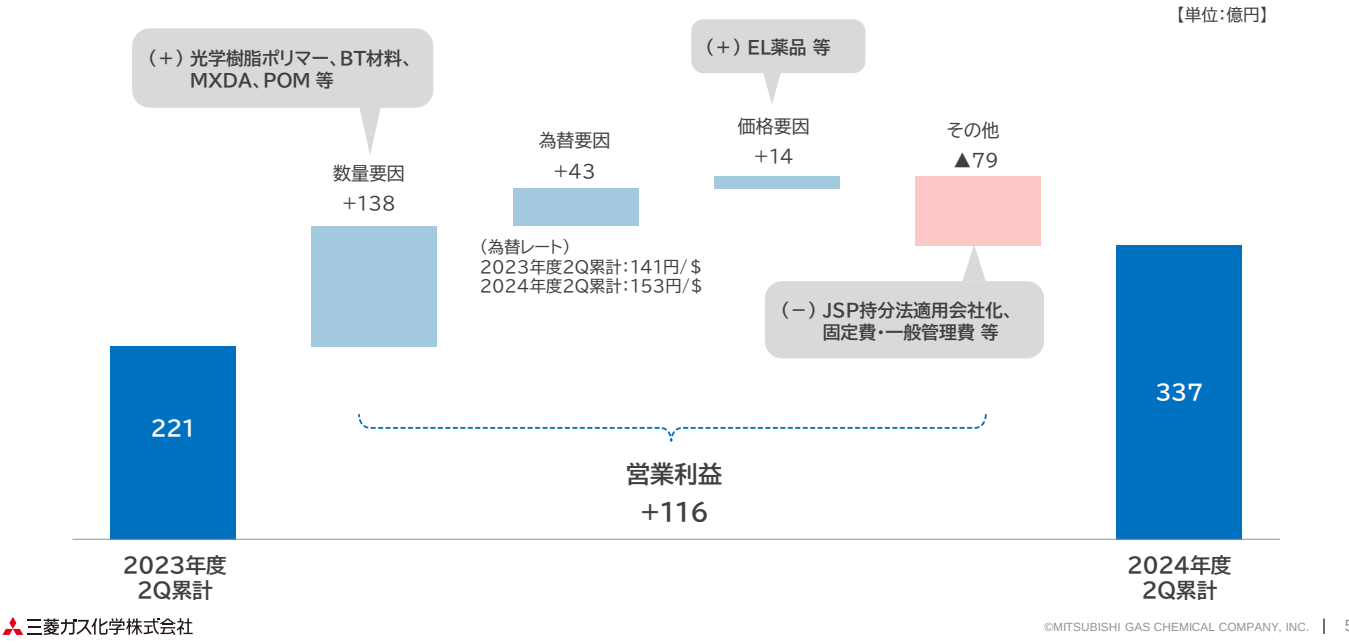
経常利益は、営業利益の増加に加え、メタノール市況の上昇等により海外メタノール生産会社の持分法損益が改善したことなどから、増益となりました。

中間純利益は、三菱エンジニアリングプラスチックス、以降MEPと呼ばせていただきます、そちらの連結化に伴う段階取得差益の剥落などにより、減益となりました。

2024年度 第2四半期 営業利益 増減要因(前年同期比)



【単位:億円】



5ページに、2024年度第2四半期の営業利益の増減要因を、前年同期比で示しております。後ほど、ご参照願います。

1 | 2024年度 第2四半期(中間期) 決算概要

2 | 2024年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

続きまして、2024年度 通期業績予想についてご説明いたします。

2024年度 通期 業績予想



－ 光学樹脂ポリマーやエンジニアリングプラスチックスを中心とした業績の上振れなどから前回予想を上回る見通し

単位:億円	2024年度 前回予想*1	2024年度 今回予想	増 減		2023年度 実績
			金額	%	
売上高	7,900	7,700	▲200	▲2.5	8,134
営業利益	540	560	+20	+3.7	473
経常利益	620	630	+10	+1.6	460
親会社株主に帰属する当期純利益	480	480	-	-	388
*1 2024年8月7日公表					
一株当たり当期純利益(円/株)	239.69	243.10			190.97
ROE (%)	7.2	7.3			6.1
ROIC*2 (%)	6.6	6.8			3.3
為替レート(JPY/USD)	151	149			145

*2 ROIC=(営業利益－法人税等＋持分法損益)/投下資本

7ページは通期業績予想の概要です。
売上高7,700億円、営業利益560億円、経常利益630億円
としております。

本日の決算発表と同時に通期業績予想の修正についても公表しておりますが、
前回予想比で、営業利益は20億円、経常利益は10億円の上振れを見込んでおります。

－ 対前回予想:売上高▲200億円、営業利益+20億円、経常利益+10億円

主な個別の増減要因

- (－) 電子材料、無機化学品(EL薬品)の販売下振れ(半導体関連需要の回復遅れ)
- (－) 為替要因(円高*1)
- (＋) 光学樹脂ポリマーの販売上振れ、エンジニアリングプラスチック(PC,POM)の採算改善
- (＋) 一般管理費の減少

*1 通期予想(JPY/USD:前回予想151 → 今回予想149)

－ 期末配当予想:50円(前回予想*2から5円の増配)

*2 2024年5月10日公表

■為替前提(下期): 1ドル145円(前回予想より5円の円高)、1ユーロ155円(前回予想より5円の円高)

(為替感応度(USD、概算):1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益6億円/年の減益(増益))

(EUR、概算):1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)

■原油価格前提(下期): 80ドル/bbl. (前回予想と同じ)

(原油感応度(USD、概算):1ドル/bbl.の上昇(下落)で、2.5億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず)

8ページに、通期業績予想のポイントを示しております。

売上高については、為替レートを円高方向に見直したことに加え、電子材料・無機化学品などの半導体関連材料において、生成AIなどの先端向けは好調なものの、その他の需要の回復遅れに伴い、販売の下振れを予想しており、前回予想を下回る見通しです。

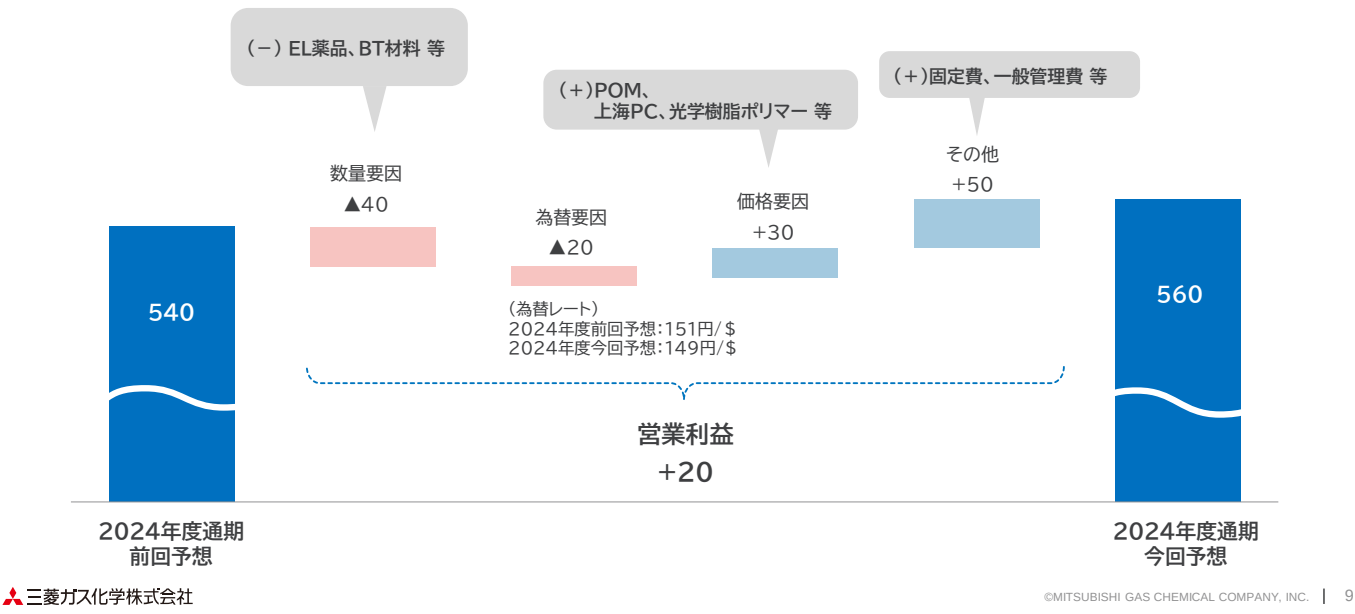
営業利益・経常利益につきましては、これら為替要因や半導体関連材料の販売下振れが減益要因となるものの、スマートフォン向け光学樹脂ポリマーの販売好調や、エンジニアリングプラスチック事業の採算改善、一般管理費の減少などにより、前回予想を上回る見通しです。

なお、期末配当については、本日、業績予想の修正と合わせて配当予想の修正も公表しておりますが、前回予想から5円増配の、50円を予定しております。こちらについても、後ほどご説明いたします。

2024年度 通期 営業利益 増減要因(前回予想比)



【単位:億円】



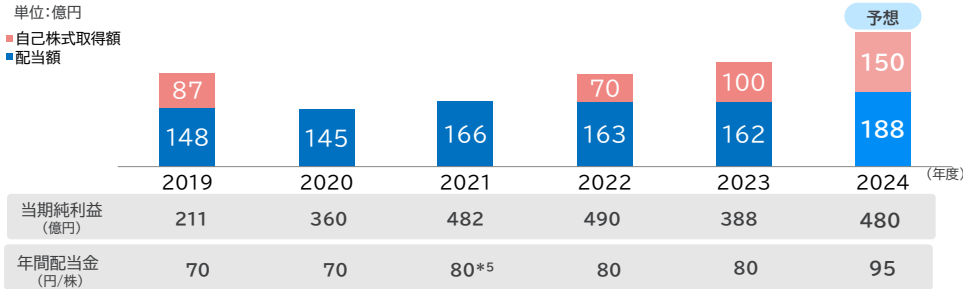
9ページは、前回予想比での、営業利益増減要因を、滝グラフで示しております。後ほど、ご参照願います。

- 中期経営計画「Grow UP 2026」において、資本コストを意識した収益性の向上や事業ポートフォリオの強靱化を図ると共に、累進配当方針の採用*1、総還元性向の引き上げ*2等、株主還元を強化
 - 財務健全性を担保しつつ、財務レバレッジの活用を含めたBSコントロールの強化等、資本コスト低減に向けた取り組みを推進
- *1 中計3年間の期間を対象。原則、減配を実施せず、配当維持または増配を行う。
*2 中長期的な目安を40%から50%に引き上げ



資本コストの低減や資本効率の向上、財務健全性のバランス等を総合的に勘案し、
2024年11月8日に**年間配当金の増額に加え、自己株式取得の実施を決定**

- ・ **配当予想修正**: 2024年度の年間配当は95円を予想。中間配当45円、期末配当50円(前回予想*3から5円の増配)
 - ・ **自己株式取得**: 最大150億円、560万株*4の自己株式取得、および今回取得した自己株式の全株式数の消却を決定
- *3 2024年5月10日公表
*4 発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.80%



10ページは、株主還元について示しております。

本年5月に公表した中期経営計画「Grow UP 2026」において、資本コストを意識した収益性の向上を図ると共に、株主還元方針については新たに、「原則、減配せず、増配または維持する」累進配当方針を採用し、総還元性向を50%に引き上げ、株主還元を強化しております。

また、財務健全性を担保しつつ、財務レバレッジの活用を含めたBSコントロールの強化など、資本コスト低減に向けた取り組みを推進しております。

本日、決算発表と同時に公表した「配当予想の修正」ならびに「自己株式の取得及び消却に関するお知らせ」のとおり、株主還元方針や、資本コスト低減、資本効率向上、財務健全性のバランスなどを総合的に勘案し、当期の期末配当予想を、1株当たり50円とすることとしました。この結果、年間配当予想（中間配当1株当たり45円を含む）は、1株当たり95円を予定しております。

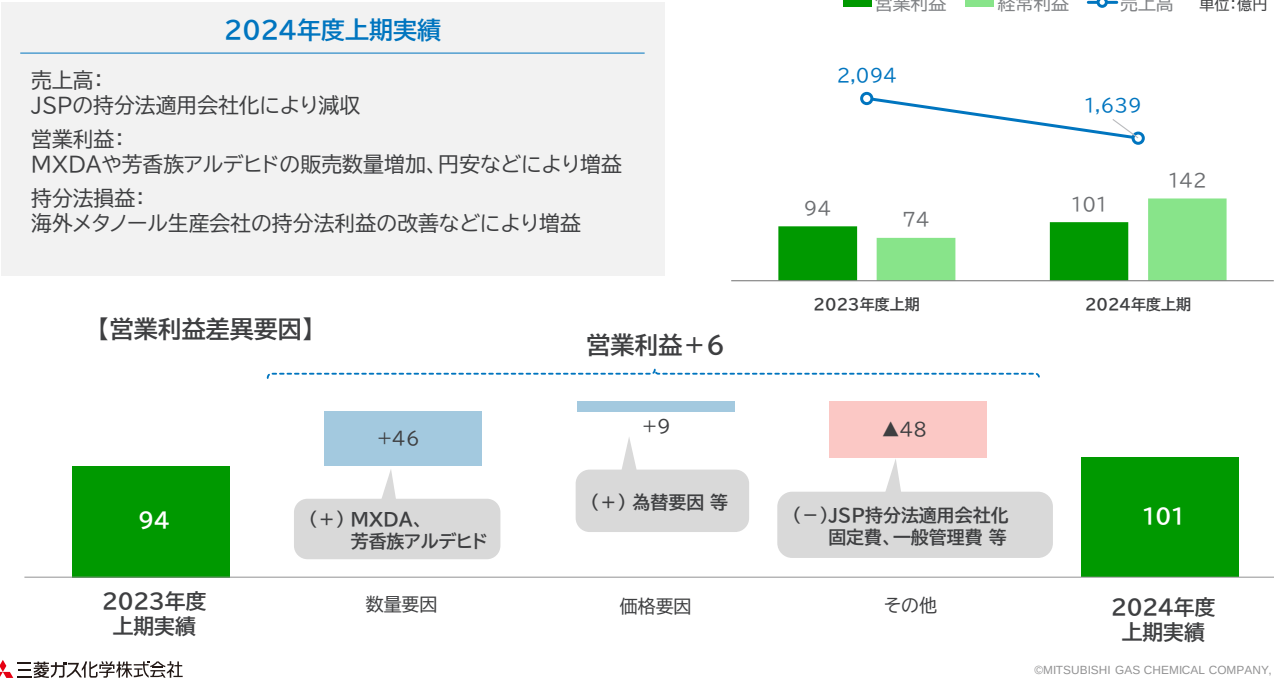
また、最大150億円、560万株を上限とする自己株式取得の実施も決定しました。なお、中長期的な株主価値の向上を図るため、取得した自己株式はその全株の消却を実施いたします。

1 | 2024年度 第2四半期(中間期) 決算概要

2 | 2024年度 通期 業績予想

3 | セグメント別 業績概要

続いて、セグメント別業績概要をご説明します。



12ページでは、旧基礎化学品事業である、グリーン・エネルギー＆ケミカル事業についてご説明いたします。以降GECと表現させていただきます。

上期実績について、右上のグラフの通り、売上高はJSPの持分法適用会社化により減収となりましたが、営業利益は、MXDAや芳香族アルデヒドの販売数量増加や、円安などにより、増益となりました。また経常利益につきましても、メタノール市況の上昇により、海外メタノール生産会社の持分法利益が改善し、増益となっております。

下段には、前年同期比での営業利益差異要因を、滝グラフで示しております。後ほど、ご参照願います。

単位:億円	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	増減
売上高	2,094	1,639	▲454
天然ガス系化学品	975	1,195	+219
芳香族化学品	1,133	449	▲684*
調整	▲15	▲4	+10
営業利益	94	101	+6
天然ガス系化学品	41	77	+35
芳香族化学品	53	23	▲29
調整	▲0	0	+0
経常利益	74	142	+68
天然ガス系化学品	18	110	+91
芳香族化学品	56	32	▲24
調整	▲0	0	+0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載
* JSPの連結子会社から持分法適用会社への異動により減収

三菱ガス化学株式会社

		2024年度上期実績（2023年度上期実績比）	
天然ガス系化学品	メタノール	➡	市況が前期に比べ上昇したことなどから増収増益（前期297ドル→今期333ドル）
	メタノール・アンモニア系化学品	➡	主にMMA系製品の販売数量回復、市況上昇、円安等により増収増益
	エネルギー資源・環境	➡	発電用LNGの販売数量の増加や、ヨウ素の販売数量増加・市況上昇等により増収増益
芳香族化学品	MXDA、芳香族アルデヒド	➡	欧米向け需要は回復傾向も、中国向け製品の販売数量減少や、固定費・販管費の増加等により減益
	キシレン分離/誘導品	➡	高純度イソフタル酸(PIA)の市況は低迷が継続しているものの、円安等もあり前年同期並みの損益

13ページでは、GECの上期実績について、前年同期比での業績動向を、主要事業別に示しております。

メタノールは、市況上昇により、増益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、MMA系製品の販売数量回復や、市況の上昇などにより、増益となりました。

エネルギー資源・環境事業は、発電事業向けのLNGの販売数量の増加や、ヨウ素の販売数量増加・市況上昇等により、増収増益となりました。

MXDAや芳香族アルデヒドは、欧米向け需要は回復傾向にあるものの、中国景気の低迷によるMXDA誘導品の販売数量が減少したことや、成長投資に伴う固定費・販管費の増加などにより、減益となりました。

単位:億円	2024年度 上期実績	2024年度 下期予想	増減
売上高	1,639	1,641	+1
天然ガス系化学品	1,195	1,144	▲50
芳香族化学品	449	502	+53
調整	▲4	▲5	▲0
営業利益	101	47	▲54
天然ガス系化学品	77	32	▲44
芳香族化学品	23	14	▲9
調整	0	▲0	▲0
経常利益	142	84	▲58
天然ガス系化学品	110	60	▲49
芳香族化学品	32	23	▲8
調整	0	▲0	▲0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載

		2024年度下期予想（2024年度上期実績比）	
天然ガス系化学品	メタノール		冬場の原料天然ガス供給制限などにより、市況は上昇を予想(上期333ドル→下期予想345ドル) 但し、円高等の影響により減益を見込む
	メタノール・アンモニア系化学品		需要は堅調に推移する見通しも、MMA系の大定修などにより減益を予想
	エネルギー資源・環境		発電用LNG販売の上期集中などにより減収減益を予想。ヨウ素の販売は引き続き堅調を見込む
芳香族化学品	MXDA、芳香族アルデヒド		販売数量は引き続き回復を見込むが、大定修(4Q)を織り込み減益を予想
	キシレン分離/誘導品		高純度イソフタル酸(PIA)市況は低迷継続の見込み。大定修(4Q)も織り込み減益を予想

続きまして14ページでは、下期予想について示しております。

メタノールは、市況は冬場の原料天然ガスの供給制限などにより、やや上昇を予想しております。

メタノール・アンモニア系化学品は、需要は下期も堅調と見込んでおりますが、MMA系装置の大定修による固定費の増加などにより、減益を予想しております。

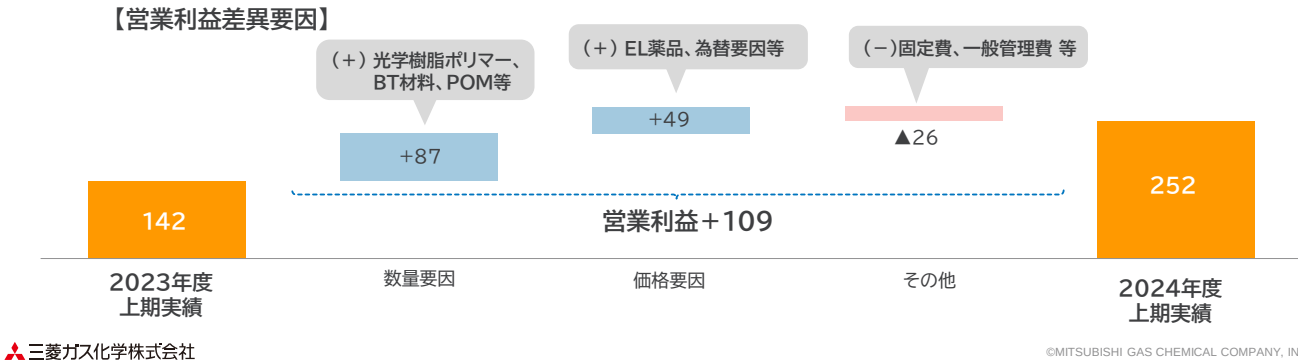
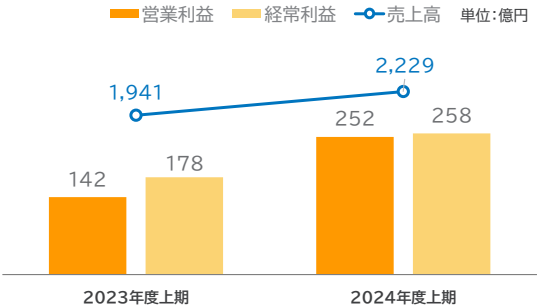
エネルギー資源・環境事業は、ヨウ素事業は引き続き堅調に推移すると見込んでおりますが、発電事業向けのLNGの販売が上期に集中したことなどから、上期比では減益となる見通しです。

MXDAや芳香族アルデヒドは、販売数量は回復を見込んでおりますが、第4四半期に予定している大定修による固定費の増加を織り込み、減益を予想いたします。

2024年度上期実績

売上高、営業利益:
無機化学品・電子材料において半導体向け需要が回復基調にある
ことに加え、スマートフォン向け光学樹脂ポリマーの販売数量増、
エンジニアリングプラスチックの採算改善などにより、増収増益

中間純利益:
三菱エンジニアリングプラスチックス社の連結化に伴う段階取得
差益の剥落(約▲150億円)などにより減益



15ページ、機能化学品事業についてご説明いたします。

上期実績について、冒頭の上期業績サマリーでも申し上げましたとおり、機能化学
品事業の損益は全般的に前年同期を上回り、営業利益は増益となりました。

下段には、対前年同期比の営業利益差異要因を、滝グラフで示しております。後ほ
ど、ご参照願います。

単位: 億円	2023年度 上期実績	2024年度 上期実績	増減
売上高	1,941	2,229	+287
機能化学品	1,648	1,866	+217
特殊機能材	293	362	+69
調整	▲0	▲0	+0
営業利益	142	252	+109
機能化学品	88	172	+83
特殊機能材	53	79	+26
調整	▲0	0	+0
経常利益	178	258	+79
機能化学品	116	168	+52
特殊機能材	61	89	+27
調整	▲0	0	+0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載

三菱ガス化学株式会社

		2024年度上期実績（2023年度上期実績比）	
機能化学品	無機化学品	➡	半導体向け薬液需要は、低迷していた半導体需要が回復基調にあることなどから増収増益
	エンジニアリングプラスチック	➡	OA機器向けなどで販売数量が増加したことに加え、製造コストの改善等もあり、増収増益
	光学材料	➡	スマートフォンカメラの高機能化トレンドや新興国向け需要の増加等により、光学樹脂ポリマーの販売数量が増加し増収増益
特殊機能材	電子材料	➡	半導体パッケージ用BT材料において、スマートフォン向け材料等の需要が回復基調にあることなどから増収増益
	脱酸素剤	➡	輸出価格改善や海外向け販売の増加により増収増益

16ページは、機能化学品の上期実績について、前年同期比での業績動向を、主要事業別に表示しております。

無機化学品や電子材料などの半導体関連材料は、半導体需要が回復基調にあることなどから、増収増益になりました。

また光学材料については、スマートフォンカメラの高機能化トレンドや、新興国向け需要の増加等により、増益となっております。

エンジニアリングプラスチックについても、主要製品であるポリカーボネート、ポリアセタールそれぞれにおいて、OA機器向けなどで需要が回復したことや、ユーティリティ等の製造コストの改善などにより、増益となっております。

脱酸素剤についても、輸出価格の改善や、海外向け販売の増加などにより、増益となりました。

単位:億円	2024年度 上期実績	2024年度 下期予想	増減
売上高	2,229	2,178	▲50
機能化学品	1,866	1,773	▲93
特殊機能材	362	405	+42
調整	▲0	▲0	▲0
営業利益	252	197	▲54
機能化学品	172	97	▲74
特殊機能材	79	100	+20
調整	0	▲0	▲0
経常利益	258	194	▲64
機能化学品	168	92	▲76
特殊機能材	89	101	+12
調整	0	▲0	▲0

内訳は、主要製品群別セグメントを記載

三菱ガス化学株式会社

		2024年度下期予想（2024年度上期実績比）	
機能化学品	無機化学品	➡	半導体向け薬液需要の回復が続く見通しも、海外子会社の新プラント稼働に伴う固定費の増加等を織り込み、減益を予想
	エンジニアリングプラスチック	➡	下期定修等による固定費負担増加や、市況の軟化、輸送費の高止まり等を織り込み、減益を予想
	光学材料	➡	スマートフォンカメラの高機能化トレンド、新機種 of 作りこみ等を背景に、好調な販売が続く見通し
特殊機能材	電子材料	➡	スマートフォン向け高機能材料から汎用材料まで全般的な需要回復、販売数量増加を見込む
	脱酸素剤	➡	上期に引き続き、好調な販売を見込む

17ページは、下期予想について示しております。

無機化学品は、地域や顧客ごとに濃淡はあるものの、半導体向け薬液の需要の回復を予想しておりますが、海外子会社の新プラント稼働に伴う固定費の増加等を織り込み、減益を予想しております。

エンジニアリングプラスチックは、ポリカーボネートの下期定修にともなう固定費負担増加や、市況の軟化、輸送費の高止まり等を織り込み、減益を予想いたします。

光学材料は、スマートフォンカメラの高機能化トレンドの継続や、北米スマホなど新機種の作りこみ等を背景に、好調な販売が続く見通しです。

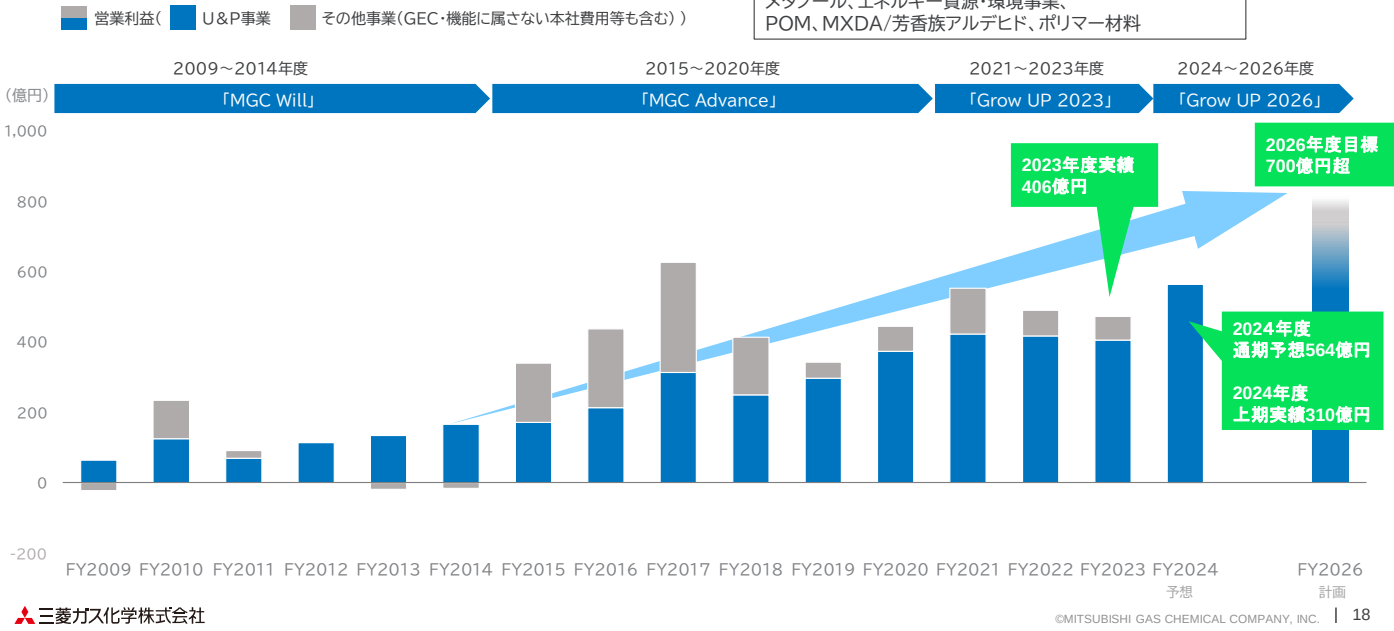
電子材料は、前回予想からは回復ペースは遅れているものの、スマートフォン向け高機能材料から汎用材料まで全般的な需要回復を見込んでおります。

Uniqueness & Presence(U&P)事業の営業利益推移



成長ドライバーであるICT3事業を中心に、現中計期間に再拡大

U&P事業:中計「GrowUP2026」において経営資源を優先的に配分すべきと評価した以下の事業
電子材料、無機化学品(EL薬品等)、光学材料、
メタノール、エネルギー資源・環境事業、
POM、MXDA/芳香族アルデヒド、ポリマー材料



最後に18ページでは、本年5月に公表した中計『Grow UP 2026』にて定義した、当社の『Uniqueness & Presence事業』の営業利益の推移を示しております。

Uniqueness & Presence事業の営業利益は、上期実績は310億円の実績となり、2024年度の通期予想は 564億円の見通しで、順調に伸長しております。

私からの説明は以上でございます。

Appendix

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移



単位:億円	2023年度実績			2024年度(前回予想)*			2024年度(実績/今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)
売上高	3,996	4,137	8,134	3,900	4,000	7,900	3,881	3,818	7,700
GEC	2,094	2,034	4,128	1,679	1,617	3,297	1,639	1,641	3,281
機能化学品	1,941	2,150	4,092	2,163	2,305	4,469	2,229	2,178	4,407
全社/調整	▲39	▲47	▲86	56	77	133	12	▲1	11
営業利益	221	252	473	280	260	540	337	222	560
GEC	94	82	177	75	49	124	101	47	148
機能化学品	142	188	330	222	230	453	252	197	449
全社/調整	▲16	▲19	▲35	▲17	▲20	▲37	▲15	▲22	▲38
経常利益	249	210	460	330	290	620	374	255	630
GEC	74	26	101	114	87	201	142	84	227
機能化学品	178	207	386	233	223	456	258	194	453
全社/調整	▲4	▲23	▲27	▲18	▲20	▲38	▲27	▲22	▲50

* 2024年8月7日公表

参考：主要製品群(旧セグメント)別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移



単位:億円	2023年度実績			2024年度前回予想*			2024年度(実績/今回予想)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期(予)	通期(予)
売上高	3,996	4,137	8,134	3,900	4,000	7,900	3,881	3,818	7,700
天然ガス系化学品	975	1,180	2,155	1,238	1,145	2,383	1,195	1,144	2,339
芳香族化学品	1,133	872	2,006	445	476	922	449	502	951
機能化学品	1,648	1,803	3,452	1,799	1,894	3,694	1,866	1,773	3,640
特殊機能材	293	347	640	374	422	797	362	405	767
全社/調整	▲55	▲65	▲120	41	60	102	7	▲6	1
営業利益	221	252	473	280	260	540	337	222	560
天然ガス系化学品	41	44	85	46	28	75	77	32	109
芳香族化学品	53	37	91	28	20	49	23	14	38
機能化学品	88	105	194	131	116	248	172	97	269
特殊機能材	53	83	136	90	113	204	79	100	180
全社/調整	▲16	▲18	▲35	▲17	▲19	▲37	▲15	▲22	▲38
経常利益	249	210	460	330	290	620	374	255	630
天然ガス系化学品	18	▲18	0	72	62	134	110	60	171
芳香族化学品	56	44	101	42	24	67	32	23	55
機能化学品	116	118	234	131	105	236	168	92	261
特殊機能材	61	89	151	101	117	219	89	101	191
全社/調整	▲4	▲23	▲28	▲18	▲20	▲38	▲26	▲23	▲50

注)便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

* 2024年8月7日公表

セグメント別 2023年度及び2024年度 四半期別推移



単位:億円	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	1,881	2,000
GEC	1,019	1,074	1,155	878	783	855
機能化学品	872	1,069	1,087	1,062	1,092	1,136
全社/調整	▲21	▲17	▲22	▲24	4	8
営業利益	62	158	165	86	157	180
GEC	32	62	69	12	41	60
機能化学品	35	106	107	81	126	126
全社/調整	▲5	▲10	▲11	▲7	▲9	▲6
経常利益	70	179	184	26	179	194
GEC	20	54	90	▲63	45	97
機能化学品	47	131	114	93	139	119
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	▲5	▲22

参考：主要製品群別 2023年度及び2024年度 四半期別推移



単位:億円	2023年度				2024年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	1,870	2,126	2,220	1,916	1,881	2,000
天然ガス系化学品	492	483	545	634	565	629
芳香族化学品	535	598	619	253	220	228
機能化学品	735	913	912	890	910	956
特殊機能材	136	156	175	171	182	179
全社/調整	▲29	▲25	▲31	▲34	1	5
営業利益	62	158	165	86	157	180
天然ガス系化学品	18	22	16	28	27	49
芳香族化学品	13	39	53	▲15	13	10
機能化学品	16	72	63	41	84	88
特殊機能材	18	34	43	39	41	38
全社/調整	▲6	▲10	▲11	▲7	▲9	▲6
経常利益	70	179	184	26	179	194
天然ガス系化学品	5	12	33	▲51	26	83
芳香族化学品	15	41	57	▲12	17	14
機能化学品	24	92	65	52	90	78
特殊機能材	22	39	48	41	49	40
全社/調整	2	▲6	▲20	▲3	▲4	▲22

注)便宜的に過去のセグメントに準じて算出した参考値となります。

2024年度 第2四半期 営業外損益・特別損益



単位:億円

2023年度
2Q累計

2024年度
2Q累計

増 減

営業外損益	28	36	+8
持分法による投資損益	▲10	59	+69
金融収支	21	10	▲10
為替差損益	25	▲19	▲45
その他	▲7	▲13	▲5
特別利益	183	11	▲172
補助金収入	3	9	+6
投資有価証券売却益	28	1	▲27
段階取得に係る差益	150	-	▲150
その他	1	-	▲1
特別損失	▲6	▲16	▲10
固定資産圧縮損	▲2	▲6	▲4
事業構造改善引当金繰入額	-	▲5	▲5
減損損失	-	▲1	▲1
その他	▲4	▲2	+1
特別損益合計	177	▲5	▲183

● 持分法損益
GEC +69
機能化学品 ▲0 等

注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

2024年度 第2四半期 貸借対照表



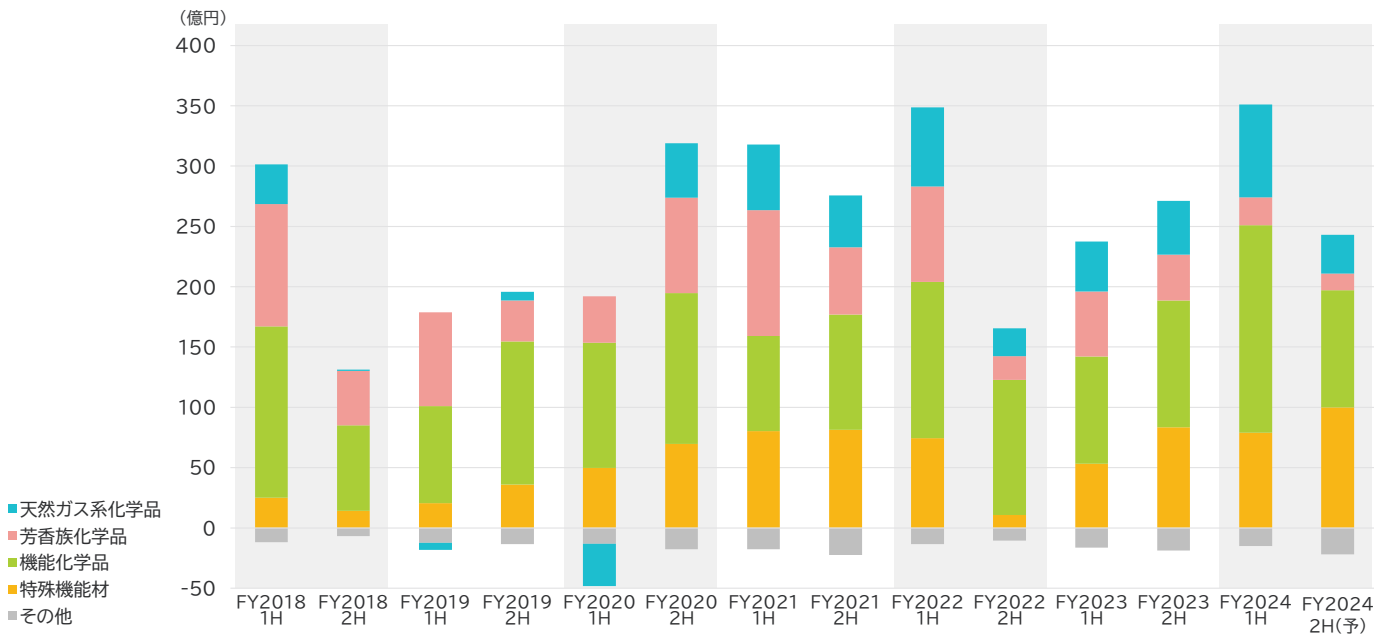
単位:億円	2024年3月末	2024年9月末	増 減
流動資産	4,631	4,545	▲85
現金	714	717	+3
売掛債権	1,656	1,513	▲143
棚卸資産	2,005	2,072	+67
その他	255	242	▲13
固定資産	6,048	6,329	+281
有形固定資産	3,146	3,366	+220
無形固定資産	248	244	▲3
投資その他の資産	2,653	2,718	+64
資産合計	10,680	10,875	+195

単位:億円	2024年3月末	2024年9月末	増 減
負債	3,831	3,814	▲17
買掛債務	1,090	947	▲142
有利子負債	1,730	1,901	+171
その他	1,011	965	▲46
純資産	6,848	7,061	+212
株主資本	5,876	6,039	+163
その他包括利益累計額	701	711	+10
非支配株主持分	270	309	+38
負債・純資産合計	10,680	10,875	+195

2024年度 第2四半期 キャッシュフロー計算書



単位:億円	2023年度 2Q累計	2024年度 2Q累計	増 減
営業キャッシュフロー	369	355	▲13
投資キャッシュフロー	▲193	▲496	▲303
フリーキャッシュフロー(差引)	176	▲140	▲316
財務キャッシュフロー	▲167	86	+254
現金及び現金同等物に係る換算差額等	63	12	▲50
現金及び現金同等物の増減額(合計)	71	▲41	▲113
現金及び現金同等物の期首残高	1,011	653	▲357
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	6	+6
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,083	618	▲464



参考：各種指標 (1)



単位: 億円	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (予)
設備投資額	305	350	309	392	423	402	547	646	817	940
[上期]	[149]	[137]	[139]	[186]	[224]	[158]	[220]	[312]	[380]	[397]
減価償却費	267	256	270	274	295	306	319	335	363	340
[上期]	[131]	[122]	[131]	[135]	[144]	[151]	[158]	[161]	[183]	[168]
研究開発費	189	192	189	186	196	199	210	235	256	265
[上期]	[92]	[96]	[95]	[91]	[94]	[98]	[101]	[111]	[126]	[127]
年度末人員(人)	8,176	8,034	8,009	8,276	8,954	8,998	9,888	10,050	7,918	8,237
EBITDA*1	746	894	1,088	976	616	817	1,070	1,050	849	967
U&P事業 営業利益	171	213	314	250	297	374	423	418	406	564
ROA(総資産経常利益率) (%)	5.9	8.4	10.6	8.7	3.9	6.2	8.4	7.1	4.4	5.8
ROE(自己資本当期利益率) (%)	9.0	12.0	13.6	11.3	4.3	7.1	8.8	8.3	6.1	7.3
ROIC(投下資本利益率)*2 (%)	7.0	9.6	12.1	9.5	3.6	6.2	7.4	6.4	3.3	6.8
売上高営業利益率 (%)	5.7	7.9	9.9	6.4	5.6	7.5	7.8	6.3	5.8	7.3
一株当たり当期純利益 (円/株)	153.85	221.83	281.39	257.46	100.50	173.41	232.15	239.08	190.97	243.10
一株当たり配当金 (円/株)	32.00	38.00	59.00	70.00	70.00	70.00	80.00*3	80.00	80.00	95.00
[うち中間配当]	[16.00]	[16.00]	[24.00]	[35.00]	[35.00]	[35.00]	[45.00*3]	[40.00]	[40.00]	[45.00]
総還元性向 (%)	42.5	30.1	32.5	27.2	111.4	40.4	34.5	47.9	67.5	70.3

参考：各種指標（2）セグメント別 設備投資額・減価償却費(連結)



単位:億円		2015	2016	2017	2018	2019		2020	2021	2022	2023
設備投資額*	天然ガス系化学品	53	90	60	57	72	GEC	197	192	320	370
	芳香族化学品	106	105	113	146	150					
	機能化学品	99	81	110	144	146	機能化学品	186	326	286	419
	特殊機能材	38	66	19	23	26					
	その他	7	5	6	21	27	その他	18	29	39	27
	合計	305	350	309	392	423	合計	402	547	646	817
減価償却費	天然ガス系化学品	61	50	51	55	63	GEC	164	171	179	173
	芳香族化学品	82	85	85	87	95					
	機能化学品	88	86	91	87	87	機能化学品	130	130	137	168
	特殊機能材	30	30	35	36	38					
	その他	3	3	5	8	10	その他	11	17	18	20
	合計	267	256	270	274	295	合計	306	319	335	363

* 固定資産計上ベース
三菱ガス化学株式会社

参考：各種指標（2）



	2020年度		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期実績	下期予想
為替(JPY/USD)	107	105	110	115	134	137	141	148	153	145
為替(JPY/EUR)	121	126	131	130	139	143	153	160	166	155
原油価格(Dubai) (USD/bbl.)	37	52	69	87	102	83	82	82	82	80
メタノール (USD/MT) アジアスポット平均価格	194	319	370	428	375	351	297	324	333	345
原料キシレン(USD/MT)	420	560	780	875	1,105	925	960	910	885	840
ビスフェノールA (USD/MT)*	900 ~1,450	1,400 ~3,300	2,750 ~3,700	2,100 ~3,150	1,450 ~2,200	1,250 ~1,700	1,150 ~1,400	1,250 ~1,350	1,250 ~1,350	1,250 ~1,350
ポリカーボネート (USD/MT)*	1,500 ~2,150	2,100 ~4,000	3,100 ~4,050	2,650 ~3,650	1,950 ~2,900	1,800 ~2,200	1,650 ~1,900	1,700 ~1,900	1,750 ~1,900	1,750 ~1,900

*期間中の最小値および最大値を記載

感応度(概算)

為替(USD) : 1円の円高(円安)で、営業利益6億円/年、経常利益6億円/年の減益(増益)

為替(EUR) : 1円の円高(円安)で、営業利益1億円/年、経常利益1億円/年の減益(増益)

原油(Dubai) : \$ 1/bbl.の上昇(下落)で、2.5億円/年の減益(増益)、メタノールへの影響は含まず

メタノール : メタノール市況 \$ 1/MTの上昇(下落)で、持分法利益1億円/年の増益(減益)

報告セグメント	主要製品群	主要製品
グリーン・エネルギー &ケミカル (旧基礎化学品)	天然ガス系化学品	・メタノール ・メタノール/アンモニア系化学品(アンモニア・アミン類、MMA系製品、ホルマリン・ポリオール系製品、等) ・エネルギー資源・環境事業
	芳香族化学品	・MXDA、芳香族アルデヒド、ポリマー材料(MXナイロン等) ・キシレン分離/誘導品(メタキシレン、高純度イソフタル酸(PIA)等)
機能化学品	機能化学品	・無機化学品(EL薬品(超純過酸化水素、ハイブリッドケミカル)、過酸化水素等) ・エンジニアリングプラスチック(ポリカーボネート/シートフィルム、ポリアセタール等) ・光学材料(光学樹脂ポリマー、超高屈折レンズモノマー等)
	特殊機能材	・電子材料(半導体パッケージ用BT材料等) ・脱酸素剤(エージレス®等)

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている計画、目標等の将来に関する記述は、作成時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績等は、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社
CSR・IR部 IRグループ

TEL 03-3283-5041

URL <https://www.mgc.co.jp/>



IRメール配信サービス

適時開示やIRに関する最新情報について、
メールでお知らせいたします。ぜひご登録ください。

 三菱ガス化学株式会社

